

第3回町田市文化芸術のまちづくり計画策定懇談会 議事概要

日時	2024年3月26日(火) 10時00分～12時00分
場所	町田市庁舎4階 記者会見室
出席者	【委員】 (敬称略) 山口 有次 (桜美林大学ビジネスマネジメント学群教授) 長尾 洋子 (和光大学表現学部総合文化学科教授) 藤枝 由美子 (玉川大学芸術学部アート・デザイン学科教授) 宗田 隆由 (一般財団法人町田市文化・国際交流財団) 高野 宗佳 (一般社団法人町田市文化協会) 高橋 倫正 (町田市郷土芸能協会) 佐藤 正志 (町田商工会議所) 亀田 文生 (一般社団法人町田市観光コンベンション協会) 福田 秀樹 (成瀬台中学校校長) 百田 明弘 (相原小学校校長) (以上 8名) 【事務局】 文化振興課 老沼課長、池田、上林、牧野 株式会社文化科学研究所 (コンサル) 【傍聴人】 0人
議事内容	1 開会あいさつ 2 前回の振り返り 3 計画の骨子案 4 その他 (1) 次年度について
配布資料	00_【次第】第3回町田市文化芸術のまちづくり計画策定懇談会.pdf 01_第2回懇談会議事録【確定版】_20240122.pdf 02-1_町田市文化芸術のまちづくり計画骨子案.pdf 02-2_補助資料_町田市文化芸術のまちづくり計画骨子案.pdf

1 開会あいさつ

○事務局 (老沼課長)

次第に沿って進行いたします。今回の議論で骨子案の構成をある程度確定したいと思います。

本日は公開の会議ですが、傍聴人の希望はありませんでした。

それでは山口委員長に進行をお願いいたします。

○山口委員長

まずは前回の議論について事務局から報告をお願いします。

2 前回の振り返り

(資料1 第2回町田市文化芸術のまちづくり計画策定懇談会 議事概要について) 事務局より説明

○山口委員長

前回の概要のご意見はないようですので、骨子案について事務局より説明をお願いします。

3 計画の骨子案

(資料 2-1 町田市文化芸術のまちづくり計画骨子案について) 事務局より説明

○山口委員長

議論を始める前に、15 ページの体系図で各基本方針についている施策はあくまで例であり、これだけに限定されないという前提で考えてよいでしょうか。

○事務局

はい、結構です。

○山口委員長

では、初めに課題までについて、次に方針について、という二段階で議論しましょう。まずは 10 ページ課題までで、ご意見はありますか。

○長尾委員

3 ページ目の社会情勢の変化の部分に「多様な人材」とありますが、人材という言葉がやや限定的と感じます。人材というとクリエイターなどのイメージが強く、子どもや鑑賞者、愛好者、伝統的なものの継承者などをイメージしにくいいため、より広く「人々」「人」としたほうが、資料後半の多様性とのつながりが出ると思います。

8 ページ目の文化芸術施設の整備状況で、町田市民文学館ことばらんの説明が足りないのが気になります。実際には旧来の静的な狭義の文学のイメージを超えて、力量のある学芸員が野心的な企画に取り組んでいます。ワークショップなど館外の関連企画も豊富にあり、図書館機能を持ち、公民館などの歴史を引き継ぎ、明日の担い手を育成していることもアピールできるよう文言調整をお願いします。

骨子全体としては、前回と比べて自然環境やデザイン思考が反映されたものになっており、よいと感じます。

○事務局

「人材」よりも「人々」の方が共生社会にもつながると感じますので修正します。ことばらんの文言も調整します。

○藤枝委員

9 ページの課題設定で、「(3) 様々な個性を持つ人が、文化芸術を鑑賞・活動できる機会を確保」とあります。これまでの経緯からみて、「様々な個性を持つ人」には障がい者や要介護者を含むことがわかるのですが、こうして課題設定としてまとめると全市民にあたるように思われ、「(1) 文化芸術を鑑賞・活動する機会の拡充」と非常に近くなります。つまり(1)と(3)は、全市民に芸術文化に触れる機会を提供することでまとめられるのではないかという印象を受けました。

○事務局

「全市民」でも良いと思う反面、障がいや病気などで文化芸術活動ができない方への施策があることを見える化したい思いもありますので、ご意見を踏まえて再検討します。

○山口委員長

ではその方向で検討をお願いします。

○高橋委員

9 ページの社会情勢の変化に、「⑦新型コロナウイルス感染症や、デジタル技術の急速な進展等により、新たな価値観が登場する等」とありますが、どのような価値観ですか。

○事務局

未曾有のコロナ禍の中、インターネット技術で世界中の状況が見られるようになったことや、AI などの急速な技術の進化により、価値観が細分化しました。多様な価値観から出てくる多様な社会全体の課題に対し、一方的な誰かの考えではなく、皆で話し合っ解決する必要があるということです。

○山口委員長

10 年間の計画ですので、10 年後に古びないように言葉にゆとりを持たせるためにも、コロナと言わなくても良いかもしれません。最近ではウェルビーイング、幸福度といった新しい価値観が出ています。少し前に、クオリティ・オブ・ライフや生活の質の向上と言っていたものもここに含んでいくとよいと思います。

○宗田委員

コロナという言葉は、新たな感染症の拡大などに変えた方がよいと思います。コロナとデジタルは別の問題ですので、デジタル技術の急速な進展については、別に整理する必要があります。

もう一点、1 ページ目の計画の位置付けに「町田駅周辺開発推進計画」がありますが、この 3 月に町田駅周辺でホールの建設ということが記載されたパブリックコメントの発表があったと記憶しています。この計画の議論の中でも、文化芸術の場がありますので、情報共有していただいた方がよいと思います。

○事務局

次年度の懇談会で、情報提供します。

○山口委員長

私が気になったのは、10 ページの図表 20 の対応図に、7 (1) がないことです。7(1)の内容は「まちだ未来づくりビジョン2040」についてなので、前提となる計画であるため記載がないことは理解できるのですが、付番としては、例えば本文中で (1) を (0) としておいて、対応図では (1) から並んでいる方がよいと思います。

では 10 ページまでのご指摘の点を修正して、この方向で進めます。続いて 11 ページからのあるべき姿、基本方針、施策までについて、ご意見をお願いします。書いてある項目は、あくまで例であって全てではないという前提で、いかがでしょうか。

○高橋委員

基本方針 2 で、アーティストと文化芸術団体は分けて書いてありますが、アーティストは団体の中に入らないのですか。

○事務局

人数の違いで、アーティストは個人で活動しているイメージです。それが集まって活動しているのが文化芸術団体と整理しています。

○山口委員長

個人としてのアーティスト、集まりとしての団体ということですね。

○宗田委員

団体でもアーティストと呼びますが、分けた方がわかりやすいかもしれません。

○高橋委員

基本方針 1 と 3 の、文化芸術を「楽しめる機会」と「親しめる環境」という表現は同じように感じます。

○事務局

基本方針 1 は「する」と「みる」を合わせて「楽しめる」としてありますが、基本方針 3 は施設等環境で、「楽しめる」とは少し違うため「親しめる」という言葉にしました。

○高橋委員

基本方針について、その違いを質問された場合に明確に答えられるのか疑問です。

○事務局

基本方針の文言について、全員が同意することは難しいですが、文言修正は検討します。基本方針 1 は身近なところで文化芸術に楽しめるソフト面、基本方針 2 は活動している人たち、基本方針 3 は施設などハード面、基本方針 4 はこれからの未来を考えるということで分けています。

○山口委員長

微妙な表現については、調整が必要と思います。

○藤枝委員

基本方針 1 がソフト、2 が活動者、3 が設備やハード、4 が未来のあり方として整理され、非常に分かりやすいと思いました。皆が楽しめるということで総花的ではありますが、逆に町田らしい色々な良さがあることを表現している感じもあります。この計画が総花的ではあっても、都市計画においてよりビジュアル的にシンボリックなものができることで、町田の色や、町田が文化芸術をどう捉えているかが市民に伝わると思います。芹ヶ谷公園の活動とも整合性があり、自然があり、文化施設があり、さまざまな文化的な良いものがあり、非常に町田らしい良い未来が盛り込まれるイメージができています。具体的に何をすることはこれからの議論になりますが、文化施設を街の中の自然と結びつけて成功している事例が世界中にあります。そうしたビジュアル的な要素が町田のものとして市民に浸透し、デザイン的な視点を入れていけば、町田に住むメリット、コミュニティが活性化し、住む人が創造的に活動する、というイメージにつながると思います。

○山口委員長

自然については主な施策には書かれてはいないので、主な施策「例」としないと、これしかないに見えるおそれがあります。今回は基本方針に掲げる 4 つの考え方が中心ですので、あくまで例ということを強調した記載としていただきたいと思います。

○長尾委員

基本方針 1 の主な施策②と、基本方針 3 の主な施策③の中身が重複しているように見えます。デジタル通信技術の発達をどう捉えていくのか。インフラ的なものとして整備するのか、それともより踏み込んだ SNS、即時双方向性のあるコミュニティ形成を伴った受信発信の形態に対応するのかについて曖昧さを感じます。基本方針 3 がハードと言い切れないのは、主な施策③のようなところがあるため、各基本方針が何を指しているのか、もう少し整理が必要です。

また 14 ページの【課題と基本方針の対応】で、重点方針 4 が課題 10 のみにしか対応していないのが寂しい感じがします。共創は非常に大事なもので、例えば課題 4、5、6 あたりに対応させたら、基本方針 1 のような大きな方針になりますし、4、5 を個々の課題として見るよりも、掛け合わせた時に共

創が出てくるのではないのでしょうか。ここを整理するとより充実した基本方針に見えると思います。

○山口委員長

一つ目のご意見については、情報環境の整備という言い方をすれば、ハード的なものもソフト的なものも収まるのではないのでしょうか。

○長尾委員

タイトルを変えるだけでもずいぶん変わると思います。

○事務局

基本方針 1、2、3 を網羅するのが 4 と位置付けたい思いがあり、基本方針 4 を分けています。ご意見のとおり整理が必要だと思います。

○山口委員長

基本方針 1、2、3 を含んだ囲みにしておいて、4 は全体を網羅しているという表現もできるかもしれません。

○事務局

基本方針 4 は全体の見出しになるもので、今後の施策や取組の段階では、ここに目新しいものを入れたいと思っています。

○山口委員長

基本方針の段階では、一旦意図的に記載しないのもいいかもしれません。

○事務局

情報環境については、13 ページの基本方針 3 の下に記載していますが、これをもって何を実現していくかを強調した記載にしたいと思っています。

○山口委員長

まさに先ほどご説明いただいた通りの内容がここに入るものと思います。

○宗田委員

基本方針 4 の主な施策①と②について、内容は同じなので①だけで良いのではないのでしょうか。主な施策①「市民や文化芸術団体等」の範囲に企業が含まれても良いと思います。主な施策②で企業をあえて分けて記載することに何か意図はあるのでしょうか。施策を分けるのならば、求めているものの違いをもっとはっきり書いた方が良いと思います。

○事務局

基本方針 4 の主な施策①は、横のつながりを持った団体同士の関わりや、新たな事業を作ることです。主な施策②は、今後市が策定する「町田駅周辺開発推進計画」に関連して、民間企業との協働・協力によるまちづくりが入ってくることを意識しています。

○山口委員長

具体的な各施策の例示を出すのは後なので、基本方針の現段階で出すと限定したものに見えてしまいます。それも含めて少し調整をお願いします。

○亀田委員

10 ページの【現状と課題の対応】で、5 (2) ④「文化観光施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律」の施行という背景が、課題 10「新たな文化芸術の価値の創造」につながっています。共創の新しい部分に力を入れるのもよいのですが、観光は全部に関係するという思いもありま

す。

○事務局

観光と文化芸術の関わりという点では、基本方針 4 の主な施策①に一番近いと考えています。先ほどの基本方針 4 の表現についてのご意見にも通じると思いますので、合わせて整理します。

○福田委員

基本方針 2 の主な施策②について、中学生以下の子どもたちが、文化芸術に触れる機会をどれだけ確保しているかという視点から見ると、学校での連携では、中学校は少し難しいと感じます。もう少し具体性に、実際に中学生以下の子どもたちに、市として何を提供していくのかがあると良いと思います。

本校では、地域の諸分野の方々を社会人先生として、18 講座を開講しています。また、町田市民文学館ことばらんどからも講師を派遣してもらい、箏の演奏や紙芝居など文化芸術系の方に入っているだいています。中学校では、こうした経験的な要素から文化芸術につながってけると良いと思います。古典芸能教室も行っていますが、将来子ども達が文化芸術に親しむ機会にどれだけつながっているかという、現場の感覚からすると疑問もあります。市の文化芸術施策と連動して、主な施策②と学校現場とのつながりやバリエーションがもう少しあると良いと感じます。

○事務局

小中学校で文化芸術の教育をしてもらうのは難しいと考えていますが、小中学校での体験は将来の文化芸術へのきっかけ作りになると考えておりますので、学校と連携して行きたいと思っています。

○百田委員

私も学校からの視点でみると、子どもたちの文化芸術活動の充実等の点は、新しい取組を進めていくイメージと理解しましたが、今現在も地域の方に来ていただいたり、学校から出かけていく活動があります。新しいものが増えるだけでは現場が負担に感じますので、今取り組んでいる活動に助成などをしていただけた方が助かるという印象を受けました。

○事務局

市としては、新しいものだけでなく、生活の中に溶け込んだものも実は文化芸術だと気づいてもらうことが、まずは大切だと考えています。

○佐藤委員

この 3 月にパブリックコメントが行われている「町田駅周辺開発推進計画」において、市長は盛んにエンタメという言葉に訴えており、また PFI や民間企業の発案もあって公共施設の再編も行われていきますので、基本方針 4 の主な施策②については、やはり強く民間企業との共創という言葉を残した方が良いと思います。「町田駅周辺開発推進計画」では、森野住宅などの理想像が出ていますので、それがもっとこの計画に入っているとも良いと感じます。

文言については、2 ページ表にある「新しく多様な取り組み」について、「経済効果を得る活動」は表現が強すぎるため、「経済効果が得られる活動」などの方が良いと思います。また 12 ページの基本方針 1 の主な施策①の「アウトリーチ」も耳慣れない言葉なので、もっと柔らかい表現にすると良いと思います。

○事務局

ご意見を参考に見直します。

○高野委員

皆様のご意見を伺ってなるほどと思いました。文化芸術は心の豊かさ、情操教育につながるものです。このような計画を作って取り組んでくださっているということで、応援してまいりますのでよろしくお願いいたします。

○山口委員長

ご発言の点を踏まえながら、事務局で加筆修正をお願いします。続いて「その他」の次年度について、事務局からお願いします。

4 その他

(1) 次年度について

○事務局

次年度のスケジュールは、骨子案 16 ページのスケジュールの通り、懇談会を 7 月、10 月、2 月頃に開催したいと思います。骨子に具体的な事業を入れ込んだ計画の事務局案を示して、ご意見をいただきます。次年度 3 月の懇談会では、1 月に行う市民意見募集の結果のご報告もします。

今回の開催日程につきましては、5 月頃に伺いますので、よろしくお願いいたします。

○山口委員長

回を追うごとにわかりやすくなっており、事務局のご尽力は十分理解しています。それでは進行をお返しします。

○事務局

今回も議事録を作成してホームページに公開しますので、4 月中旬～下旬頃にご確認をよろしくお願いいたします。それでは閉会します。

以上